

節	対戦相手	H/A	試合結果	監督談話
1	川副クラブ	H	● 0 - 1	<p>kyuリーグに関わる皆様、無事リーグ開催おめでとうございます。</p> <p>今年も目指すは、全国社会人サッカー大会出場を掲げて、闘っていきます。</p> <p>久しぶりの沖縄集中開催ということで、初めてのものも多い中で迎えた第1節は、川副クラブさんとの開幕戦。</p> <p>互いに決定機の多くはない状態で迎えた前半20分に、ふとしたセットプレーから失点。その後、ゴールに向かって終始責め立てるも固い守備に阻まれ得点に至らず、試合終了。</p> <p>第2節では、KMGホールディングスさんとの試合でした。</p>
2	KMGホールディング	H	● 0 - 1	<p>前日の内容を払拭しようとしたゲームでしたが、ワンチャンスをもものにされ、その後はチャンスをつくるも決めきれず、試合終了。</p> <p>両試合とも、長くサッカー経験を積んできた選手の皆様にしてやられた形となり、こちらはうまく力を出し切れず肩透かしにあったようにもやもやとする試合となりました。</p> <p>シーズンは始まったばかりなので、次節以降では、最大限の力を爆発させて完勝する気持ちで準備したと思います。</p> <p>最後になりましたが、運営をしていただきました九州リーグ事務局様、沖縄県サッカー協会様、審判団の皆様、運営に携わっていただきました皆様、ありがとうございました。</p>
3	FC延岡AGATA	A	● 0 - 6	<p>第3節は、FC延岡AGATAさんとの試合でした。</p> <p>前節より結果が振るわず、何としても勝ち点を獲りたいと臨んだ試合でしたが、開始から相手の猛攻にあい、自分たちのペースに持ち込めず、ピンチの連続でした。</p> <p>中でのいくつかあるチャンスをシュートまで持ち込めず、サイドからの攻撃に対して、失点。</p> <p>その後も、持ち運でいきたいシーンでも相手の強い局面の勝負に完敗し、連続失点。</p> <p>後半でも、自分たちのボールロストから連続失点でした。全く自分たちの思い描くプレーをさせてもらえず、ゲームが終了。</p> <p>目指すべきレベルであり、越えていなくてはならないレベルを体感したので、これからの一層レベルアップをしていきたいと思います。</p> <p>最後になりましたが、運営をしていただきました九州リーグの事務局様、宮崎県サッカー協会様、審判団の皆様、運営に携わっていただきました皆様、ありがとうございました。</p>
4	海邦銀行SC	A	○ 2 - 1	<p>第4節は、海邦銀行さんとの試合でした。kyuリーグでは、まだ勝ち星がなく是が非でも勝ちたいと臨んだ試合でした。</p> <p>前半はうまくいかない状況がいくつかありましたが、耐え忍び、得点チャンスをいくつか創出したが得点には至りませんでした。</p> <p>その中怪我による交代を余儀なくされ、ゲームが進んでいきました。</p> <p>また、雷による悪天候で試合中断となかなか試合でパフォーマンス発揮するには難しい条件がそろそろゲーム展開となりました。</p> <p>しかしながら、中断後に幸先の良い得点を取れたことで、良い状態で前半を終えることができました。</p> <p>後半には、決定的なチャンスがくるも、決めきれず、相手の勢いに拍車をかける結果となり失点。</p> <p>ただ今回のゲームでは、折れることなく最後までハードワークできたことで最後に得点を取り切ることができ、待望の勝ち点3を獲得できました。</p> <p>まだまだ、洗練させていかなくてはならない部分が多々あるも、苦しいゲームをしっかりと勝ちにできたことは、今後につながる1戦となったことは間違いないと確信しています。</p> <p>最後になりましたが、悪天候の中、怪我の対応およびゲームの運営を行っていただきました沖縄サッカー協会様、審判団の皆様、並びにボールパーソンやその他運営に携わっていただきました皆様、本当にありがとうございました。</p>
5	Brew KASHIMA	H	● 0 - 5	<p>第5節は、Brew KASHIMAさんとの試合でした。</p> <p>前節を踏まえ、勢いに乗っていきたくい中で迎えたホームゲームでした。序盤の入りは悪くない形でしたが、以降は相手の勢いに飲まれる形となり、失点。</p> <p>その後もうまくペースをつかむことができず、立て続けの失点で、これといった得点チャンスを作ることができず敗戦となりました。</p> <p>ゲームのすべてにおいて完敗を感じるゲームとなり、個人とチームの底上げをまだまだしていけないといけなことが再確認できるゲームとなりました。</p> <p>最後になりましたが、強風の中試合運営に携わっていただきました鹿児島県サッカー協会の皆様、審判団の皆様、ボールパーソンやその他運営に携わっていただきました皆様、ありがとうございました。</p>



節	対戦相手	H/A	試合結果	監督談話
6	ヴェロスクロノス都農	H	● 1 - 4	<p>第6節は、ヴェロスクロノス都農さんとの試合でした。</p> <p>リーグ首位の相手でもあることから、試合前から難しい試合展開になることの共通認識を持って臨んだ試合でした。</p> <p>序盤から相手の猛攻を受け、守備時間が長く、思うように攻められない時間が続くゲーム展開でしたが、ボールを奪いに行く姿勢が功を奏し、奪ってゴールまで向かっていくチャンスを数回は創出することができました。しかしながら、チャンスを決めることができず、自分たちのミスから失点をしてしまいさらに劣勢な状態に陥った。</p> <p>前節までは、このままずるずると立て続けに失点してしまい、やるせない状態のまま試合を終えていましたが、今回は劣勢の中でも、何とか追いつけ追い越せを心がけ、前向きなプレーを行うことができました。ただ、技術や身体的な能力の違いをまざまざと感じる結果となり、得点はしたものの振り返って見れば1-4での敗戦となりました。</p> <p>敗戦はしたものの、得るものは大きく今後につながるゲームでしたので、これを機に益々のレベルアップを行っていきたいと思います。</p> <p>最後になりましたが、鹿児島県サッカー協会の皆様、審判団の皆様、ボールパーソンおよび試合運営に携わっていただきました皆様、ありがとうございました。</p>
7	ジェイリースFC	A	● 0 - 4	<p>第7節は、ジェイリースFCさんとの試合でした。</p> <p>技術的にも組織的にも格上の相手であることは、承知の上でも臆さずプレーし、勝ち点を取ろうと意気込んで臨みました。</p> <p>前節より自分たちが相手と渡り合っていると実感できてきた中での試合ということもあり、開始から主導権争いに持ち込むことができ、いくつかのチャンスを演出することができました。その中でセットプレーでの失点。以降、前半は下向きのプレーが増えてしまい、その際に連続失点をしてしまった。</p> <p>このままでは終われないと、後半からさらにギアをあげての攻撃を行うが、シュートまで持ち込めず、逆に失点をしてしまいました。</p> <p>今節では、通用する部分とこれから取り組むべき課題が明瞭化された充実したゲームとなりました。</p> <p>次回は、鹿児島開催、後期に向けて良い流れをつかむためにも、しっかりと結果を残していきたい。</p> <p>最後になりましたが、大分県サッカー協会の皆様、審判団の皆様、試合開催にあたり運営に携わっていただきました皆様、ありがとうございました。</p>
8	板付FC	A	△ 1 - 1	<p>第8節は、板付FCさんとの試合でした。リーグ残留を考えると勝ち点を取らないといけないという試合でした。</p> <p>立ち上がりは上場の入りで得点のチャンスが多く訪れていましたが、決めきることができず時間が経過して行き相手の一本のチャンスで失点してしまい一気に形勢が逆転しました。</p> <p>その後には、キーパーのアクシデントにより予想だにしていなかった状況が続きましたが、全員がゴールを守る意識と得点をするという気持ちで戦った結果、同点に追いつき何とか勝ち点を取ることができました。</p> <p>第9節は、新日鉄大分さんとの前期最終節でした。良い形で前期を終えたいとの気持ちをもって臨んだ試合でした。</p>
9	日本製鐵大分	H	● 0 - 1	<p>前節のこともありGKには不安要素がありましたが、何としてでも守り切るという気持ちで体を投げ出し、序盤からピンチをしのぐことができました。</p> <p>一方で、得点を奪うことができず、前半終了。後半には、ふとした瞬間に失点。その後、猛攻を仕掛けるも、最後の精度が低く得点を奪えませんでした。</p> <p>前期を通して、ゴール前の制度の低さから得点機会の演出と得点を奪うことができなかった。自分たちの強みである後期に、うまさ・強さを見せられるよう準備したい。</p> <p>最後に鹿児島集中開催にあたって事前準備から携わっていただきました鹿児島県サッカー協会の皆様、審判団の皆様、試合の運営に携わっていただきました鹿屋中央高校・鹿屋体育大学の皆様に感謝するとともに、拙い運営にもかかわらず鹿児島の地において素晴らしい試合をしていただきました九州リーグのすべてのチームの皆様、ありがとうございました。</p>
10	川副クラブ	A	● 0 - 1	<p>無事大分にて、後期開幕おめでとうございます。</p> <p>第10節は、川副クラブさんとの試合でした。後期開幕にあたり、前期の結果を上回るべく臨んだ試合でした。</p> <p>前期での試合から得点チャンスの創出は格段にできるようになった結果、最後のラストパスやシュートの部分での足りなさが目立った試合でした。</p> <p>また、アクシデントもありうまく立ち回れなかった部分もあり、まだまだやりこんでいかないと実感しました。</p> <p>第11節は、KMGさんとの試合でした。</p>
11	KMGホールディング	A	● 1 - 3	<p>前日の敗戦の後、さらにゴールの意識を持って臨んだ試合で、得点はたった1にとどまり、それ以上の3失点という結果になってしまいました。</p> <p>巧みな攻撃パターンと最後の質の部分で顕著な違いが見られたと思います。</p> <p>“微に入り細を穿つ”細部にこだわり、これから連勝街道をひた走れるよう、しっかりと準備していきたいと思います。</p> <p>最後になりますが、大分県サッカー協会にあたり、事前準備から携わっていただきました九州サッカー協会および大分県サッカー協会の皆様、審判団の皆様ならびに当日運営にかかわっていただきましたすべての皆様、ありがとうございました。</p>

節	対戦相手	H/A	試合結果	監督談話
12	FC延岡AGATA	H	● 0 - 6	<p>第12節は、FC延岡AGATAさんとの試合でした。</p> <p>前期には手も足も出なかった相手に対して、結果で成長を見せたいと思い、試合に臨みました。序盤に不注意からあっけなく失点してしまい、劣勢の状態を作ってしまいました。相手の攻撃に対して受けに回ることしかできず、耐える時間が長くなる中で簡単に失点を許してしまいました。</p> <p>後半には、修正を行った結果、ゴール前のシーンを演出するも決めきることができずに敗戦。技量だけでなく精神面に至るまでの完全な敗戦を喫した。足元を見つめて一つ一つのプレーから細部に至るまでの振り返りをこれから行い、強いチームとして残りを戦いたい。</p> <p>最後になりましたが、鹿児島県サッカー協会の皆様、審判団の皆様、運営に携わっていただきました皆様、ありがとうございました。</p>
13	海邦銀行SC	H	△ 0 - 0	<p>第13節は、海邦銀行さんとの試合でした。</p> <p>リーグ残留にあたって、絶対に負けられない試合でした。序盤は、自分たちがうまく噛み合わず、流れが良くない入りでした。</p> <p>時間の経過とともにチャンスも増加し、後半にはゴールに迫るシーンが増えるも最後のプレー精度の低さで得点に結びつかなかった。</p> <p>また、シュートをうち切れない結果、カウンターを受ける形になり、ピンチを招いた。残りの試合で勝ち星を稼ぐためにも、足元を見つめてしっかりと練習に取り組んでいきたい。</p> <p>最後になりましたが、鹿児島県サッカー協会の皆様、審判団の皆様、運営に携わっていただきました皆様、ありがとうございました。</p>
14	Brew KASHIMA	A	● 0 - 1	<p>第14節は、Brew KASHIMAさんとの試合でした。</p> <p>あいにくの天候の中で、難しいゲームになることが予想できていました。</p> <p>序盤から相手の勢いをうまく裏返すことが難しく、押し込まれる時間帯が続いていましたが、高い集中力で堅守を敷くことができていました。</p> <p>しかし、ふとしたセットプレーのこぼれから失点。その後、後半にかけて猛攻を仕掛けるも、得点を奪いきることができませんでした。</p> <p>チャンスをものにする部分を重点的に強化し、残りの試合で得点を量産できるよう準備していきたい。</p> <p>最後になりましたが、悪天候の中試合準備から運営をしていただきました、佐賀県サッカー協会の皆様、審判団の皆様、BrewKASHIMAの皆様、ありがとうございました。</p>
15	ヴェロスクロノス都農	A	● 0 - 1	<p>第15節は、ヴェロスクロノス都農さんとの試合でした。</p> <p>リーグ首位の相手に対して、一矢報いる思いの中臨んだ試合でした。序盤から相手の猛攻にあいながらも失点せずに耐える中で、チャンスを作り出すことができていた。</p> <p>前半の終盤には、相手陣内で攻撃をすることができていたにも関わらず、得点に至らず後半へ。後半はさらなる相手の攻撃に対して、耐え忍ぶ時間が続いた。</p> <p>その中で、相手の連続するコーナーキックから失点。終了間際には、決定的チャンスを決めきることができず、惜しくも敗戦した。</p> <p>あと3節もこの調子をさらにあげ、勝ち点を取りたい。</p> <p>最後になりましたが、素晴らしい環境の準備と試合運営をしていただきました、宮崎県サッカー協会、審判団、運営に携わっていただきました皆様、ありがとうございました。</p>
16	ジェイリースFC	H	△ 1 - 1	<p>第16節は、ジェイリースFCさんとの試合でした。</p> <p>リーグも残すところ3試合となり、残留を果たすためには是が非でも勝ち点は欲しい状況での試合でした。</p> <p>14節以降チームの状態も好調になり、あとは表立った結果という形を出すだけでした。</p> <p>序盤から、自分達が猛攻を仕掛け、得点チャンスを創出するも、なかなか取り切れない状態が続き、0-0のまま後半へ。</p> <p>後半には、PKからの失点。その後のチャンスを作るも得点できない状態が続きましたが、一つの裏パスからファールによるPKを獲得し、喉から手が出るほど欲しかった得点を獲得した。</p> <p>終盤には相手の猛攻にあうも、体を張った守備で何とか守り切り、結果引き分けることができました。</p> <p>最後の2節、さらなるレベルアップを持って残留を決めたいと思います。</p> <p>最後になりましたが、試合運営をしていただきました、鹿児島県サッカー協会、審判団、運営に携わっていただきました皆様、ありがとうございました。</p>



節	対戦相手	H/A	試合結果	監督談話
17	板付 F C	H	● 2 - 3	<p>宮崎集中開催にて、皆様の多大なる尽力のもと、今シーズンも無事九州リーグを終えましたこと、感謝申し上げます。</p> <p>17・18節とも九州リーグ残留のためには、負けることができない連戦となりました。</p> <p>第17節は、板付 F C さんとの試合でした。残留をかけた大一番ともあり、激戦が予想されました。</p> <p>予想通り激しいゲームとなりましたが、幸先よく先制点を取り、追加点を…。しかし、なかなか決めきることができず、連続失点。</p> <p>さらには、追加点を決められてしまい惨敗となってしまいました。</p> <p>第18節は、日本製鉄大分さんとの試合でした。またまた、残留をかけた試合となり、しかも点が取れない展開がまたしても続きました。</p>
18	日本製鉄大分	A	○ 1 - 0	<p>何とか先制点を取り、前節のことも考え追加点を何としてでもと思っていたのですが、堅い守りに阻まれ、後半にはただただ耐え忍ぶ展開が続きました。</p> <p>そのまま試合終了を迎えることができ、入れ替え戦の切符を獲得することができました。</p> <p>来シーズンもこの九州リーグの舞台で切磋琢磨できるよう、死力をつくして入れ替え戦に臨みたいと思います。</p> <p>最後になりましたが、2日間の宮崎集中開催の運営を行っていただきましたヴェロスクロノス都農の皆様、FC延岡AGATAの皆様、宮崎県サッカー協会、審判団およびボールパーソンの皆様、ありがとうございました。</p> <p>また、九州リーグ事務局の皆様、シーズンを通した運営ありがとうございました。</p>